

留 学 報 告 書

記入日: 2014年5月28日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	中国 香港
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 香港中文大学 現地言語: 香港中文大学
留学期間	2013年8月～2014年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2014年5月16日
明治大学卒業予定年	2016年3月



留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 9 月上旬～11 月下旬 2 学期: 1 月初旬～5月中旬
学生数	
創立年	1964 年

留学費用項目	現地通貨(HK\$)	円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	11,000	143,000 円	
食費	24,000	312,000 円	
図書費	1,600	208,000 円	コピー代含む
学用品費	100	1,300 円	
教養娯楽費	300	3,900 円	読書用本
被服費	2,000	26,000 円	
医療費	0	円	
保険費	0	円	形態:
渡航旅費	5,000	65,000 円	超過料金含む
雑費	2,000	26,000 円	交通費
その他	10,000	130,000 円	旅費
その他	2,500	32,500 円	語学試験受験費用
合計	58,500	760,500 円	

渡航関連

渡航経路: 東京—香港、香港—福岡

渡航費用

チケットの種類	往路デルタ航空、復路: 香港エクスプレス
往路	4 万 8 千円
復路	1 万 7 千円
合計	6 万 5 千円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

なし

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍など)

大学の宿舍

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数2)

3) 住居を探した方法:

大学の割り当て

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

3人部屋はプライベートな空間も時間もほぼゼロに等しいためづらい。私が住んだ i-House はほかの留学生と交流したい人にはお勧めだが、現地の友人を作りたい人には薦めない。新設の、Morning side college, Lee woo sing college, S.H. Ho college, C.W.C college などがきれいで住環境もよく、現地の友人も作りやすい。また、現地の生徒がルームメイトの場合は高確率で週末に実家に帰るため自分の時間を作りやすい。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した：切り傷の悪化。軽傷だった学内の病院で無料の診察、治療を行ってくれた。

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

寮長、アジア地域担当の学生アドバイザー

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

香港が安全だったため危険地域もなく、巻き込まれることもなかった。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学内ほぼ全域に wifi が完備されており、不自由は全くない。また、学校で登録する wifi

(eduroam, university wifi)は市内の駅でも通じるため、少々不便でも構わないなら現地で携帯の契約をする必要はないように感じた。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか？ (例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を開設して親から送金してもらった。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

薬類

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他：

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
36 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 21 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Culture of Hong Kong	香港の文化
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	fall term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 90 分、チュートリアル 45 分
授業時間数	1週間に 45 分が 3 回
担当教授	Wai Chee
授業内容	香港の文化;歴史、食、教育システム、香港人のアイデンティティの由来など
試験・課題など	中間 essay 2000 字、期末 essay 約 3500 字
感想を自由記入	香港の歴史、中国本土のとの違いなど住むうえで必要な情報を学問的側面から学ぶことができ非常に良かった。多くの留学生が履修しているためチュートリアルを通して交友関係も深めることもできる。香港での必須知識としてぜひ履修することを薦める。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Globalization and politics	グローバリゼーションと政治
科目設置学部・研究科	GPAD
履修期間	Fall term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 45 分が 3 回
担当教授	
授業内容	国際問題(貧困、紛争、人権など)を論理を用いて検証する。
試験・課題など	小テスト 2 回(中間に相当)、期末試験;筆記、個人プレゼンテーション
感想を自由記入	毎週のリーディング多い分、授業中に学ぶことも多い。生徒と教授のディスカッションが盛んです。一般科目であるため、専門が国際関係論の人にとっては物足りないかもしれません。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Japan and East Asia	日本と東アジア
科目設置学部・研究科	JASP 日本研究学科
履修期間	Fall term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 90 分、チュートリアル 45 分
授業時間数	1週間に 45 分が 3 回
担当教授	
授業内容	東アジアの定義、日本と東アジアの関係、アジア地域における地域統合の是非など
試験・課題など	中間 Essay1200 字、期末 Essay 2000字、プレゼンテーション
感想を自由記入	先生は日本人だが、授業は当然英語です。様々な文化背景をもつ人びととの議論を通して日本を外からみられる点で興味深かったです。日本に対する各国の人びとの正直な意見、考えも聞けるため勉強になります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gender in Asia	アジアにおけるジェンダー
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	Spring term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 90 分、チュートリアル 45 分
授業時間数	1週間に 45 分が 3 回
担当教授	
授業内容	インド、韓国、日本などの国々を中心としたジェンダーの問題点
試験・課題など	中間 Essay 約 2000 字、期末 Essay 約 2500 字
感想を自由記入	授業は毎回、教授の活発な講義とともに刺激的な内容で退屈に感じることはありませんでした。生徒の多くが積極的に授業に参加し議論も活発に行われます。Reading も興味深いけれど、それほど難易度の高いものではないように感じました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Understanding Human Rights	
科目設置学部・研究科	GPAD
履修期間	Spring term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 45 分が 3 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	中間、期末試験 授業1回につき約論文 3 本のリーディング
感想を自由記入	興味のある分野だったため、難しかったが面白かった。理論などは理解していることを前提に進むため予習がかかせない。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
CPTH3313 Application of vocabulary and Grammar III	語彙と文法の活用
科目設置学部・研究科	
履修期間	Fall term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とチュートリアル
授業時間数	1週間に 45 分が 3 回
担当教授	Zhan
授業内容	小説を中心に読み、説明する中で文法事項の確認。
試験・課題など	中間、期末試験ともに筆記試験 e-learning でのリスニング課題
感想を自由記入	比較的容易。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
CPTH 3323B : Oral skills practice		口語練習	
科目設置学部・研究科			
履修期間	Fall term		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアルと講義		
授業時間数	1週間に 45 分が 3 回		
担当教授	Zhan		
授業内容	中国文化、作法、習慣の理解と各国文化の比較		
試験・課題など	中間、期末プレゼンテーションと口頭の期末試験 e-learning system による毎授業のリスニング課題		
感想を自由記入	大人数のクラスの場合、自分の話す回数が少なくなる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
CPTH 3333 Communication in contexts			
科目設置学部・研究科			
履修期間	Fall term		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアルと講義		
授業時間数	1週間に 45 分が 3 回		
担当教授	Chu		
授業内容	3313 と同一テキストの後半部分を使い文法、語法事項の確認、説明。 物語を自分の言葉で説明、発表するなど。		
試験・課題など	中間、期末試験ともに筆記試験(論述) 論述課題(計4回)、e-learning system によるリスニング課題		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
CPTH4413A News Media and Presentation			
科目設置学部・研究科			
履修期間	Spring term		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアルと講義形式		
授業時間数	1週間に 45 分が 3 回		
担当教授	Liu		
授業内容	時事問題に関する議論、意見、他国と比較など。		
試験・課題など	一課ごとの小テスト、ニュースプレゼンテーション、論述課題 3 回、期末筆記試験		
感想を自由記入	先生が厳しかったが、文語や中国の時事問題について知ることができたためよかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
CPTH 4423: Speech preparation and Presentation	
科目設置学部・研究科	
履修期間	Spring term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアルと講義
授業時間数	1週間に45分が3回
担当教授	Chu
授業内容	毎授業前トピックを与えられ、それに対する議論。口語中心。
試験・課題など	3度の小プレゼンテーション、中間、期末プレゼンテーション、中間、期末筆記試験
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
CPTH 4443: Communication skills on Business and Trading topics	
科目設置学部・研究科	
履修期間	Spring term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアルと講義
授業時間数	1週間に45分が3回
担当教授	Wen
授業内容	中国の商業の仕組み。財務、会計表などの取り扱い方を中心に企業研究なども行う。
試験・課題など	中間、期末筆記試験
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ECON 1220B: Contemporary Economic Thinking	
科目設置学部・研究科	Economics
履修期間	Spring term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に45分が3回
担当教授	
授業内容	基礎的な経済理論
試験・課題など	中間、期末試験
感想を自由記入	経済の知識が全くなかったため非常に難しかった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	
4月～7月	4月 入学後すぐに留学に必要な資格を調べる 7月 HSK4 級受験
8月～9月	9月 HSK5 級受験
10月～12月	11月 書類作成、学内選考 12月 面接
2013年 1月～3月	3月 中検 2 級受験
4月～7月	5月中旬 留学先大学への手続き 7月 授業選択(授業開始後変更可)
8月～9月	渡航 オリエンテーション 9月初旬 授業開始
10月～12月	10月中旬 中間試験 12月初旬 期末試験
2014年 1月～3月	1月初旬 新学期開始 2月初旬 春節休み 3月下旬 期末試験
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	以前中国での在住経験はあったものの、自信を持って中国を知っている、中国語を話せるという状態ではなかったため、自分の強みとして確立させたいと思ったからです。また、成長目覚ましいアジアに近接した香港という地理的条件の下、日本という国を外から見てみたかったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	第一に語学力です。中国語の授業でも英語の授業でも語彙力のなさを実感しました。英語で学部授業をとることもできるのですが、語学力さえあれば興味のある授業を好きだけとることができます。日本について 30 分ぐらい話せる位、日本の政治や経済、文化などについて調べておくといいと思います。日本の折り紙などはやはり珍しく、簡単な折り方をたくさん覚えておく役に立ちます。
この留学先を選んだ理由	中国語と英語の両方を使うことができるからです。また、イギリスの植民時代があったため、客観的に中国を見られるということにも魅力を感じたからです。
大学・学生の雰囲気	よく遊び、活動的ですが、勉強もしっかりします。日本と異なり GPA が重要視されていることもあり、試験や課題に対する意識も非常に高いです。課題がある期間は毎日日付が変わるまで図書館にいることも多く、非常に刺激されました。
寮の雰囲気	毎週木曜、金曜の夜には寮で学生たちによるパーティーが行われていました。それぞれのフラットで各々が行っているため、いろいろな場所に顔を出すことで友人の輪を広げることができました。
交友関係	寮のパーティーや授業で留学生と仲良くなることができました。特に授業では毎週会うという利点があるため、授業後の食事でも共にすることで非常に仲良くなりやすかったです。また、ローカルの学生のバレーボールチームにも所属したことで、様々な学部、学科の人と交友関係を築けました。
困ったこと、大変だったこと	3 人部屋でプライベートな空間が全くなかったことです。また、ルームメイト同士の仲が良くなかったことや、生活時間帯がばらばらだったことでうまく睡眠がとれないことも多々ありました。共同キッチンではものがなくなることは日常茶飯事なので、なくなってもいいものしか置かず、自分の部屋で常温保存できるものしか食品を買えないことも残念でした。
学習内容・勉強について	香港なまりの英語のついていけず最初は苦労しましたが、2 学期目になると先生の冗談にもついていけるようになり、授業を楽しめるようになりました。中国語の授業では、単語がわからないために言いたいことが言えないという悔しい思いも多くなりました。しかし同時に、地道な予習、復習とプレゼンテーションでのちょっとした工夫の積み重ねが一年になると大きな成果として出ることも身をもって体験できました。
課題・試験について	毎週のリーディングは非常に多かったです。試験前やレポート提出期は毎晩日付が変わるまで図書館にこもり、土日でも図書館で過ごすことが多くありました。しかし、興味のある内容だったため、時間はかかるもののそれほど苦には感じなかった気がします。
大学外の活動について	
留学を志す人へ	留学は大学生活の中で、多くある通過点の一つです。留学へ行くことがゴールではないので、留学を通して何を心得、どんなことにつなげたいのかまで行く前に考えられているとより実り多いものとなります。つらいこともたくさんあるので、信頼できる人を早めにみつけ、適度なストレス発散を心がけるとよいと思います。すべては自分次第なので、留学前の目標、計画性が重要です。がんばってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業		授業			課題がなければ一日自由時間
	授業	授業	授業	授業	自習		
午後	授業		授業	授業	広東語	自習	
	授業		授業		課外活動	自習	
夕刻	授業		自習	授業		自習	
夜				交流会	交流会		